

京 都 大 学

教 育 学 部 紀 要

XXXII

アメリカにおける教職志向学生の特徴

1905年～25年における教育評価の理論と実践

指組みと腕組みの遺伝性、利き手との関係および人類学的特徴について

Rigidity の実験的研究の諸相——1950年代の実験研究を中心として——

「かくれたカリキュラム」の理論と実証研究——解釈的アプローチの観点から——

図書館理事会制度に関する一考察

木村素衛における「形成・表現」について——木村教育学の研究 I ——

ソビエトにおける、発達と教育に関する基礎的理論の形成過程について

1920年代実業補習教育の動向

「デモクラシー」と「軍事教育」

——第1次大戦以降の「軍事教育」論をめぐって——

探究の論理と道徳教育論

——デューイによる「メタ倫理的相対主義」批判の意義——

自己客体視理論についての一考察

生後2年間における手の機能的左右非対称性の発達とその個人差

女性性の諸側面について

校正課題における情報処理過程

戦後イギリスにおける中等教育改革の検討

——三分類制度克服の動きにみる国民大衆の要求

と「統一学校」思想の関係に関する一考察——

イギリスにおける初等学校教育課程行政

1986

京都大学教育学部紀要 XXXII

目 次

論 文：

アメリカにおける教職志向学生の特徴……………	江 原 武 一	1
1905年～25年における教育評価の理論と実践……………	天 野 正 輝	24
指組みと腕組みの遺伝性，利き手との関係および 人類学的特徴について……………	坂 野 登	47
Rigidity の実験的研究の諸相 ……………	百 名 盛 之	64
——1950年代の実験研究を中心として—— 「かくれたカリキュラム」の理論と実証研究……………	柴 野 昌 山	100
——解釈的アプローチの観点から—— 図書館理事会制度に関する一考察……………	森 耕 一	123
木村素衛における「形成・表現」について……………	大 西 正 倫	140
——木村教育学の研究 I—— ソビエトにおける，発達と教育に関する基礎的理論の 形成過程について……………	築 山 崇	165
1920年代実業補習教育の動向……………	笹 尾 省 二	191
「デモクラシー」と「軍事教育」……………	中 村 隆 文	202
——第1次大戦以降の「軍事教育」論をめぐって—— 探究の論理と道徳教育論……………	松 下 良 平	214
——デューイによる「メタ倫理的相対主義」批判の意義—— 自己客体視理論についての一考察……………	上 田 恵 津 子	225
生後2年間における手の機能的左右非対称性の発達と その個人差……………	小 嶋 玲 子	238
女性性の諸側面について……………	山 口 素 子	248
校正課題における情報処理過程……………	辻 齊	259
戦後イギリスにおける中等教育改革の検討……………	佐 野 正 彦	270
——三分類制度克服の動きにみる国民大衆の要求と 「統一学校」思想の関係に関する一考察—— イギリスにおける初等学校教育課程行政……………	君和田 容 子	283

昭和 60 年度 修士 論文

氏 名	論 文 題 目
加 藤 守 孝	デュイに於ける道德観——その意義と問題点——
木 原 成 一 郎	小学校「体操科」の教授理論についての一考察——1900年代から1910年代にかけて のスウェーデン式体操の紹介と導入——
楠 凡 之	学童期における「社会的自己」の形成に関する一考察
西 川 由 紀 子	幼児期後半における絵本をてがかりとした作話能力の発達と絵本指導
原 子 栄 一 郎	環境教育に関する基礎的研究
石 村 雅 雄	フランスの大学自治における「参加」原理と「教授職の独立」
井 上 毅	意味記憶の構造と属性情報——プライミング効果による検討——
内 田 直 行	学校における「labeling」——理論的検討と事例研究の試み——
遠 藤 由 美	社会的情報の処理におけるセルフ——ゴールとの関連で——
川 口 敦 生	反復情報処理における連合の効果について——意味記憶・エピソード記憶の検討——
川 崎 克 哲	対人不安心性における他者関与の影響について
川 畑 直 人	日本人キリスト者青年とアイデンティティ——母性社会における父性的宗教——
木 下 孝 司	乳幼児における要求伝達行動の発達の变化
杉 原 保 史	自我同一性地位における早期完了型についての個性記述的研究——現代日本人にお ける青年期危機に関する一考察——
山 本 利 子	「教育行政機関の基準設定に関する任務」の考察
別 府 哲	幼児における行動コントロールの発達について——手の水平移動における「抑制の 持続」——
吉 田 圭 吾	治療者における母性と父性について

昭和 60 年度 卒業論文

氏 名	論 文 題 目
久々津 久 和	"遊び" のダイナミズム
富 江 宏	授業書方式による「わかる授業づくり」の検討——「北大方式」を中心に——
中 瀨 秀 徳	昭和初期郷土教育に対する小田内通敏の関わり——地域を基礎とする地理教育への手がかりとして——
野 村 賢 一	英語教育における速読指導の意味, 具体的指導法に関する一考察
鳩 澤 美和子	中学生段階における生活綴方教育の意義と内容に関する一考察——佐藤実践の分析を通して——
三 宅 正 人	子ども文化の位置づけ
柳 橋 俊 翁	コメニウス『大教授学』において出された一斉教授と結びついた形での学級教授に関する一考察
山 本 晴 美	モリソン・プランにおける学習単元の意義と展開
児 玉 衣 子	F.W.A. フレーベル『母の歌と愛撫の歌』の教育方法学的検討——保育内容編成原理の研究のために——
福 守 研 二	「小学校体育科における体力の発達をふまえた指導のあり方について」
松 永 公 代	5歳児における文脈形成力の発生と保育の留意点——書きことばの獲得の発達の前提として——
内 藤 恵 子	『シジュポスあるいは教育の限界』Siegfried Bernfeld の教育思想
北 出 宏	生きるということについて——現代における「われ」の喪失の問題について及びその克服としての出会いと孤独の問題について考える
岡 本 康	Narcissism と Personality に関する一考察——N.P.I と Y.G 性格検査を用いて——
金 山 靖 道	欲求不満場面における Repression-Sensitization 次元の研究——P-F スタディを用いて——
神 坂 公 子	声による顔の印象形成
菊 江 賢 治	三名辞系列問題における視点の役割
菊 池 聡	Conjugate Lateral Eye Movement と利き脳の研究
栗 山 暢	催眠下の年齢退行について
齋 藤 正	死の意味するもの
坂 崎 浩 久	空間象徴理論と脳のラテラルティ——風景構成法を用いて——
櫻 木 淳 子	質問紙調査における中心化傾向について——R-S 次元との関連
嶋 佳 子	血液型と性格とを結びつけようとする試みに対する実証的研究

清水 浩史	依存性と攻撃性
新出 浩一	姿勢についての一研究
竹内 健児	愛他行動とその動機について——絵画愛他性テスト作成の試み——
中川 美穂子	幼児期前半における遊びの発達
八田 耕一	欲求不満場面における対人恐怖の心性について
平井 正三	青年期の自我同一性について——投影法と質問紙を用いて
松井 孝雄	推理課題の主題効果に対する方略の影響
森 純子	娘における父親像と Self-Esteem 及び性役割観
安井 裕子	自由連想イメージの生成における個人差について
安村 典子	児童期における物語理解の発達——文章のイメージ化を中心として——
青木 真理	昔話の研究——物語の完成をめぐる——
清水 幸二	描画の発達——「知識」仮説と「視覚」仮説をめぐる——
宮本 芳子	男性性・女性性と利き脳に関する調査
菅野 智明	正のフィードバック(ほめ言葉)による内発的動機づけの変化について
川上 真史	職業的パーソナリティタイプと職業意識に関する調査研究
岸田 三和男	Jung のタイプ論に関する一考察 JTS と TAT をもちいて
羽田 哲	Empathy and parental identification
石川 晴子	物語の記憶 昔話を題材として
野口 敬子	自我の諸相について
門野 健治	音楽聴取時のイメージ形成の研究——C. G. Jung のタイプ論に関連して——
神垣 勝年	日本における入学試験——進学適性検査を通して——
河合 初江	国公・私立学校在学者間の公費配分格差に関する考察
木村 良樹	時刻制度転換期の動揺を探る——幕末・明治初期啓蒙書を通じての考察——
佐部 成彦	高等教育における育英奨学制度の現状と課題
錦 織睦子	「就学指導」行政に関する考察——「就学学校決定処分」における親と行政の役割——
山田 郁文	戦後図書館システム論についての一考察
石原 伸浩	教育と医療の接点としての学校保健とその条件整備
内田 高洋	文化の日常と非日常
梶本 益子	新・新宗教研究
木村 哲郎	学校教育法第41条の理念からみた最近の高校職業教育政策についての一考察

編集委員	本 山 幸 彦	田 中 昌 人	齋 藤 久 美 子
	上 杉 孝 實	高 木 英 明	
編 集 員	大 西 正 倫	築 山 崇	仲 谷 兼 人
	菅 野 信 夫	黒 田 勇	植 田 健 男

昭和 61 年 3 月 24 日 印刷
昭和 61 年 3 月 31 日 発行

発 行 人 京 都 大 学 教 育 学 部
代 表 者 西 村 俊 雄

印 刷 所 株 式 会 社 文 功 社
京 都 市 南 区 上 烏 羽 南 唐 戸 町 103

発 行 所 京 都 大 学 教 育 学 部
京 都 市 左 京 区 吉 田 町 町

Kyoto University Research Studies in Education

XXXII

Contents

Sociological Characteristics of American College Students	
Planning to Enter Teaching Professions.....	EHARA Takekazu
On Theories and Practices in Educational Evaluation in Japan : 1905-1925	
.....	AMANO Masateru
Some Genetical and Anthropological Traits of Hand Claspings and	
Arm Folding.....	SAKANO Noboru
A Review of Rigidities in Experimentation	MOMONA Moriyuki
A Theory and Empirical Study of the "Hidden Curriculum"	
—An Interpretative Approach.....	SHIBANO Shōzan
A Historical Overview of the Library Trustee.....	MORI Koichi
Reconstructing Dr. Kimura's "Formation-Expression" as a Model of Education	
—A Study of Kimura's Philosophy of Education I —	OHNISHI Masamichi
On the Theory of Human Development in the USSR	
—The Relation Between Development and Education—.....	TSUKIYAMA Takashi
Continuing Vocational Education in Schools in the 1920's.....	SASAO Shōji
Post-World War I Democracy and Pre-Military Education in Japan	NAKAMURA Takafumi
The Logic of Inquiry and the Theory of Moral Education	
—The Significance of John Dewey's Criticism	
of "Metaethical Relativism" —.....	MATSUSHITA Ryōhei
A Study on the Theory of Objective Self-Awareness	UEDA Etsuko
Development and Individual Differences in Manual Asymmetry	
During the First Two Years	OJIMA Reiko
Various Aspects of the Feminine	YAMAGUCHI Motoko
Information Processing in Proofreading.....	TSUJI Hitoshi
A Study on Post-War Secondary Education Reform in England.....	SANO Masahiko
Educational Administration of Curricula in Britain	KIMIWADA Yoko

The Faculty of Education
Kyoto University
March, 1986